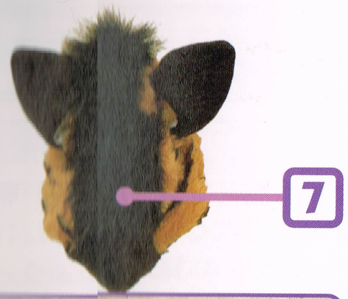
ファービー基礎講座②

ファービーはとっても敏感

各センサーの解説

ファービーは、体のあちこちにあるセンサーで音や光を感知して、おしゃべりしたり喜んだりします。どこを触るとどんな反応をするのか、覚えておきましょう！





1 耳・サウンドセンサー……（P17）

このセンサーで感知するのは、音。ファービーの耳のそばで手をたたいたり、音楽をかけたりすると、大きな音にビックリしたり、うるさいと怒ったりします。でも、ダンスを踊りたいときだったら、音に合わせて踊ったりもしますよ。

2 額・ライトセンサー……（P17）

ファービーは、額にあるセンサーで光を感知することができます。光が届かないと、暗いと文句を言うことも。ときには夜になったと思い、眠ってしまうこともあります。ゲームをするときなどは、この額の部分を手で覆って隠しましょう。

3 額・赤外線センサー……（P17）

額のセンサーには、もうひとつ役目があります。それは、仲間のファービーたちと交信させることです。近くにいる仲間の存在をここで感知して、会話を始めますよ。会話をさせたいときは、なるべく額を向きあわせてね。

4 口・タッチセンサー……（P18）

口の中にある舌に触れると、食事をさせたことになります。ファービーに食事をさせるのに、大事なこと。お腹がすいたと言ったり、言うことをきかなくなったりしたときは、舌を触るようにしましょう。その他、再起動のときにも使用。

5 お腹・フロントセンサー……（P15）

ファービーのお腹の中心あたりに、フロントセンサーがあります。ここに触れると、ファービーをくすぐったことになります。ファービーは、くすぐったがり屋なので、笑ったり、喜んだりしますよ。でも、やりすぎると怒ることも……。

6 本体・振動センサー……（P14）

ファービーの体内には振動センサーもあります。そのため、持ちあげられたり、揺すられたりするのがわかるようになっているのです。だから、左右に振ったり、逆さまにしても反応しますよ。気に入ると、せがんでくることもあります。

7 背中・バックセンサー……（P16）

おしりよりちょっと上にあるセンサーに触れると、ファービーはゴロゴロとのどを鳴らして喜びます。これはとても気持ちがいいみたい。食事をしたばかりだったりすると、ゲップをすることもあります。